

こども会議のみなさんへ

フォーラムに参加した大人たちからのメッセージ

1 自分も子どもだったときには

こども会議発表・・・忘れてしまっていたが、自分も子供の頃、同じようなことを思っていたなあと感じました。小・中・高共通して、親からも先生からも「もっと自分をちゃんとみてほしい」ということではないかと思います。日頃の忙しさを言い訳にして、押しつけてばかりの自分を反省します。

<こども会議>の発表をした小・中・高校生の方たちへ
皆さんが、発表されたことは自分が子どものころ、親、大人、先生に対して思っていたことばかりでした。なのに、大人になり、親になってみると子どもの頃嫌だと思っていたことを子どもに対してしています。今日の発表を聞き、子育て支援の活動にたずさわるものとして、これから自分自身と向き合う課題としていきます。子どもの皆さん、大人は完璧ではなく欠かんだらけです。一緒に社会をつくっていきましょう。

自分の子ども時代を思い出しながら、小学生、中学生、高校生の発表を聞きました。自分が子どもであったときに、彼らのように親や先生に自分の意見を言うことができればよかっただろうなとうらやましく思うこともありましたが、すでに亡くなってしまった父や母を思うと、その教えにしたがって進む道を選択し、今まで歩いてきてよかったと思うこともあります。やはり、親には感謝、また、先生にも感謝です。

なお、自分の子どもたちはすでに成人していますが、今日の子どもたちの発表を聞いて、親として反省すべきことが多いです。ただ、成人しているとはいえ、親子の関係はずっと続きますので、心を新たに、子どもと対話しながらよい親子関係を築いていきたいと思います。「こども会議」発表者の皆さん、今日はありがとうございました。

自分が子どもの時に思っていたことが、たくさん発表の中にありました。大人になって、仕事をするようになってから、忘れてしまったことがあって、何となくはずかしくなりました。子どもが大人に対してもっている期待にこたえられるよう、仕事も子育てもがんばっていきましょうと思いました。

自分が子どもの頃感じたこと、考えていたことを思い出しました。こうあってほしい、と子どもに望むことが、まずできている自分であるよう心掛けていきたいと思います。

素直な子どもたちの意見を聞いて、自分も子どもの頃思っていたこと、感じていたことを思い出しました。大人になったら、“あんな大人にはなりたくない”と思っていた気持ちを改めて感じ、子どもたちと、しっかり向き合えるよう心がけ、まだまだ見本にはなれないところもあるけれど、子どもの意見を受け入れ、子どもたちの心によりそっていききたいと思いました。

こども会議発表の子どもたちの意見は、ストレートで心に響くものがあった。大人として、子どもたちと上手くかわっていききたいと改

めて思った。私が子どもの時に思っていた事もあったが、大人になって忘れていたので、実行したい！

今日の子供達の発表、とてもすばらしかったです。発表の内容がとても心に響き、ぐさつとくるようなことばかりでした。自分自身が幼かった頃にも同じように大人に思っていたのに、自分が大人になってしまうと、その頃の気持ちは忘れて、子供の模範になれない大人になってしまっているなあと感じさせられました。子供達はいろんな事を見ており、いろんな思い考えをしっかりと持っていることがとても実感できました。子供たちのこのような発表の場をもっと設けて、子供たちの意見を聞く場が増えれば、地域社会も変わるのではないかと思います。

子供達の思いを大人の前で発表する機会はとても良いことだと思いました。学校内の授業のひとつでするものとはまた違い今日参加出来た(発表した)子供達だけでも多くの見知らぬ大人達に(教育関係者等)発言できたことは、"聞いてもらった"という満足感もあるのではないのかと思いました。

・自己肯定感は大人も(親も)持っているのか？日本は減点法や否定はしやすい、日本に必ずかもしれないけど、ほめられて「いや」と思う人はいないと思う。相手と互いに支えあい、はげましあい、を見つめなおしていく中で、だれもが自分が基準となってしまうがちだが、0対100、まちがっている対正解、答えはひとつではない。人間は不完全で完全。いいこと、がんばっていること、失敗したことで、がんばったね、がんばっているね、よくやっている等、相手をほめる練習もたとえば授業でもうけてもいいと思います。

・自分が子供の頃に戻った 大人に言いたいこと聞いてほしいこと いっぱいあった。でも毎日忙しく常に怒っている親には何も言うことができなかった。子供が大人に聞いてほし

いというこういう場を設けてもらうことで自分の気持ちも代弁してもらえたような気がします。ありがとうございました。

こども会議発表については、自分も「反省しなければならぬなあ」と思うことが少なからずありました。気づきの機会を得られてよかったです。

・こどもたちへの返事

中3と小5の男の子の父親です。私もこどもの頃、みなさんと同じように「大人もちゃんとして」「まず自分自身の行動を見直して」、「注意する前に模範を」などなど、大人に対する思いがありました。そのようなある意味で不満を持つ一方で、尊敬や感謝の気持ちもありました。誰もがみんないつしか大人になります。私も気づけば大人になっていました。特にこどもができたことで、親であることを自覚し、「大人らしくあり」、「こどもが一人前に育つことができるよう、責任ある大人でなければならない」という気持ちを抱き、「大人」という役割を担うことが自分の使命と思ってきたように思います。とはいうものの、完璧な人間などいないように、完璧な「大人」もないのも現実だと思えます。私もこどもの頃「自分もできないくせに」と大人に対する不満を持っていましたが、今思うと「あの頃口すっぱく注意してくれていたのは自分(私)のためだったんだなあ。」と思うことが多々あります。そう思えるのは、こどもの頃、大人に対し尊敬や感謝の気持ちを持っていたからだと思えます。今日、みなさんの思いを聞いて、自分も「ちゃんとしなければならぬなあ」と思いました。少しでも尊敬や感謝されるに値する人間になろうと思えました。最後にみなさんへのお願いです。「大人」は「こども」の味方ということをお忘れ下さい。ぜひ、「大人」のよいところも見つけて下さいね。

今日はありがとう。子供達の声は、私が中学生の頃にも大人に対して思っていたことと同

じです。大人は完ぺきじゃない。不器用だけど、いっしょうけんめいなので、無視したり、逃げたりしないで、いやならいやだと、声にだして。

2 反省しました

子どもたちの発表は、親としては、今まで娘や息子から言われてきたことと重なり、申し訳ないという思いと、まだおそくない、いつまでも関係づくりをしていく上で大事にしていきたいと思いました。地域の支援者としての自分の立ち位置として、子ども達の為に、自分は何ができるのか？それをさぐっていかねばいけないと思いました。

子ども達の「ありのままを受け取めてほしい」「意志を頭ごなしに否定しないでほしい」という発表が、単なるわがままや我を通そうという気持ちからではなく、真しな心からの意見として耳に響きました。社会に出て困らないように、レベルの高い学校に行けるように・・・大人としては子どもの将来のことを考えて、子どもと接しているつもりが、こちらが思ったように育って行ってほしいという枠にはめようとしているのかもしれない。子どもたちを教える者として、彼らの意志が自分の思っている枠に当てはまらない時、なぜそのような意志を持つようになったのか、そこに向き合っていく必要があると思いました。そして、子どもたちが「早くこんな大人になりたい！」と思えるように自分自身を成長させていく必要も感じました。ありがとうございました。

・もう子育ては終わってしまったけれど親と子という関係の中で今日のこどもの気持はよく響きます。改めて気づかされます。まだまだ反省が足りないと思いました。

・子育て中に失敗だと思ったことを今日、あらためて言われて、後悔先に立たずの気持です。これからできることを参考にさせていただきます。

大人として反省すべき事が多々あった。孫の教育に役立てたい。(自分も勉強しなおししなければと思う)子供から先生への提言は良かったと思います。

こども会議の発表を聞いて胸にズキンと響く言葉がたくさんありました。大人の私自身がワガママにすぎ、子供に対してきちんとむかいあわず、枠にはめようとする言葉を発していたように思います。大切なことは子供ときちんと正面から向き合うことだと感じました。忙しいということでごまかさず、忙しさの中で何が一番大切なのか、私たちの一番大切な子供たちのために、一番大切な時間を使っていきたいと思います。とくに子供の気持ちを見すごさずに気付けるようになりたいです。

子どもたちの力強い発表に感動しました。改めて大人として「わかっていながら、できない事」を指摘された思いです。今一度自分を見つめなおして行動していくきっかけになりました。教育関係者としてまた、一人の親としてたくさんの事に気づかせてもらいました。

話を聞いてもらいたい。一人一人の気持ちを受け止めてもらいたいとの話があり、今まで型にはめて見ていた自分を反省した。

子どもの発表については、自分もノートに書き足していた覚えがあり、その内容の多くを今でも覚えています。よく似た内容でした。ただそれを発表することもなくきた為、今回発表した子達は私よりもっと覚えたまま大人になるので、大変良い社会になると思います。只、内容を覚えていても、ついついそこから外れたことをして、反省しています。今回の内容を今後正式に表に出し多くの大人に伝えることで少しでも、変える、変わるよう努力をする。特に児童と接する職業の人に。

子どもさん達の意見、耳の痛いこと、胸にグサッとくること沢山ありました。自分が子どもの時に言いたかったこと（当時は言えなかった）を、言ってもらったと。でも、今、大人になって、さて、理想の大人になっているかと考えると、出来てないことが多々あります。でも、今日の代表の方のみでなく全員の子どもさんが同じことを思っていると思い、見本になれる大人であるように努力していくべきだと考えました。今日は貴重な意見、ありがとうございました。

教師として、子どもたちの発表にはチクッと痛むところがありました。つい忙しさにかまけて十分に一人ひとりを見てあげることができないこと、子どもに甘えて任せてしまうこと、心の中では分けへだてなく接しているつもりなのに、言葉の一つや反応一つで”ひいきされた、不公平だ”と思われてしまうこと・・・これからは今よりももっと注意して子どもに接していきたいと思いました。

・「感情で怒ったり、ほめたりしないで！！」私もよく子どもに言われます。「自分の感情だけで怒らないで！！言われる自分はすごくいや！子どもの事をもっと考えて怒って！！」と言われた後は、悪かったなあと反省します。

・自己肯定感
高校になると、自分を出しすぎると、学校で校則にしばられて、先生にとって良い子にしている事が学校で必要な生徒。親が自己肯定感を持って元気に育てたいと思いました。

小学生、中学生、高校生のこども会議発表について、大人にむけての要望は、ほんとうにご無理ごもっともといったことばかりでした。私も今後反省し、ひとつひとつ直していきたいと思えます。素直な気持ちで！！

・子どもたちの発表を聞いて、どれもこれも本当にその通りのことでしたが、改めて思うと、

自分自身、えりを正しくしていけないと、思いました。

・一人ひとりをしっかり見ていくという目標を立てて、とりくんでいるのですが、意見を聞いて、まだまだだということがわかりました。

・子ども達のメッセージ、とても良かったです。

・日々の自分の生活を振り返るきっかけになりました。

3 これから実践します

・子供達は親や先生の様子をしっかり見ていると思う。

・大人も子供達も本音で向き合う態度が重要。

・感情で物事を解決しない。

・次世代をになう子供達を県全体でかかわって行く。

・「自己肯定感」は子供自身はもちろん、親、地域、行政が子供は大切な存在だと思い可能性を引き出して行く。

子どもの声は、ズキン（苦笑）とききました。我が子はもちろん、クラスの子とも、真正面から向かい合って語り合いたいと思います。でも、大人（親）が子どものことを心配する気持ちもわかってもらいたい。その為にも、”向かい合って”、”語り合う”、”とことん話す”ことを心がけ、大人と子どものつながりを深めたいと思います。

発表は堂々としていて、良かった。が、大人や先生にも言い分はあるはず。機会があれば、それも聞いてあげてほしい。私も、自分のことを振り返ることから始めたい。子どもたち（あなたたち）の宣言が、よいきっかけとなりました。ありがとう（子どもたちへ）

・子どもが元気であることは、地域で見守ることが大切である。

- ・感情でものを言わない。
- ・回りの状況を話せるきっかけが必要である。

・会話の時間を多く持つ様に努力します。
・言いたいこと、考えていることは何なのかしっかり聞くよう努力します。

・良い所に着眼して、話しする様に努力します。

みなさんを応援してくれる仲間を増やす様、地域のみなさんに働きかけます。

子ども達へ

家庭内での悪口の話は本当に注意しないといけないと思います。大人の都合、事情で声をかけてはいけませんね。本音で話す機会を増やす努力が必要ですね。

今日のフォーラムの中にもあったように基本は対話であると思います。地域の一人として、声かけ、見守りをしていきたいと思います。

子どもたちの発表は、自分をひとりの人として尊重し、受けとめてほしいという思いだったと思います。頭ではわかっている、口も手も出したくなるし、自分との戦いであると思います。誠実に受けとめたいと思いました。

小学生が先生について語ってくれたことを、私の学校でも先生方に伝え、子どもたちが安心して過ごせる学校づくりを進めていきたいと思いました。

大人と子どもは上下関係ではなく、フラット（対等）な関係である。傾聴と認めることを続けていきたい。又、今の親の育ちの支援もしていきたい。

こども会議の感想

・子どもを一人の人間として、きちんと向き合いたいと感じた。

・また、チャレンジすることを親としていつも応援したいと思った。そのためにも、自分自身がしっかりしたいと思った。

・家庭でも、学校でも、職場でも性別、年代、親族を超えて人と人との“対話”と“傾聴”が大事であることを、子どもたちのメッセージから再認識させられました。身近なところから、さらに意識しながら、実践をしていきたいと考えています。

・子どもたちの模範となる行動に努めているのですが、自らの行動はもちろんのこと、大人の間でも注意し合うことなど気を付けていきたいと思います。

フォーラムに参加し、まず自分、親が今日から行動するという事に気付かされました。自分を大切に認め合う、子供の権利を受け止め話し合う、家族会議、生きる存在、とても参考になりました。子育てに自信を持ち、子供と向き合おうと決意しました。ありがとうございました。人生は笑顔が大切！！頑張ります。

子どもに対して耳を向け、目を向けなければならぬ。子どもと視線を合わせコミュニケーションを図る。子ども会議の発表を県民の皆さんに提示してほしい。やっぱり大人は笑顔が大切である。そして子どもからアクションを。私も自己肯定ができる私にしていかなければならぬ。

常に初心を忘れることのないよう、心がけていきたいと思いました。

授業参観でのシーン。本当に後ろの大人がしゃべってうるさいですね。隣の人から話しかけられたら今までは自分は話さずうんうんうなづいていましたが、ここ最近は、大人が鏡とならねば・・・と思い、話しかけられても「終わってから話そっ」と言って、話が續いていかない様にうながしています。こそこそ話は—

番耳ざわりなものです。答えになっているかどうか分かりませんが、親として立って木の上で見守り、子は親の鏡を意識し後姿を見せていけるよう努力していきます。ありがとうございます。

年齢は違えど、子どもの思いは共通している部分があると気づきました。もっと面と向かい合わなければと思いました。子どもとの関わりについて見つめ直すきっかけになったのではと感じました。

こども会議で発表されたことは、どれも普段自分の子供に対して良くない思いながらもやってしまっていたことでした。今回、子どもたちはちゃんと見ているんだと、はっとさせられました。これからはごまかさず、きちんと子供と向き合っていこうと思います。

子どもの発言をきいて

- ・子どもとじっくり話す時間を週に一度はつくる。
- ・安易に子どもの思いにすりよらず、大人(親)の主張はていねいにきちっとする。
- ・親は子どもの成長にあわせての子どもとの距離を考える。

しかし基本的には、子どもの存在を一人の人間として認めることは必要。

” 疲れた禁止令 ” 大賛成

子供達の言葉に心がえぐられるようでしたが、心を新たに頑張りたいと思います。

三重県に子ども条例があることを初めて知った。これはとてもいいことで、もっとPRして県民に知らせるべきだと思う。こども会議発表は、三人の子どもの父親として、また長年教員をやってきた者として、耳の痛いことばかりで大いに身にしみた。全く言われた通りだ。自分の子どもはもう成人したが、自分が担当する生徒には、今まで以上にきちんと関わってい

たい。いいかげんな指導は慎みたい。また学校を離れた時にも、マナー違反とならないように、手本となるような行動をしていきたい。

子どもたちから ” 見られている大人 ” としての自覚のもと、” カッコ良い大人 ”、” イケテルジジイ ” を目指して、日々生きたいと思いました。

- ・大人が子どもと一緒に遊ぶ時間を持つ。
- ・子どもと一緒に面白がることのできる大人に！！
- ・特に辛いことや悲しいことがあった時、勇気を出して相談をしてほしい、してもらえる大人になりたいと思う。
- ・子どもは大人を、しっかり見ている。大人は子どもが見えていないと感じた。
- ・急がず、ゆったり子どもを見守る余裕をもちたい。
- ・大人の意見を押しつけないことを肝に銘じたい。

もっと多くの人に聞いてもらいたいと思いました。忙しい忙しいと思っていたが、やっぱり子供の意見は良く聞いてやった方が良いのでは。自分の背中を見せるつもりで今後生活しようと思いました。学校の先生方は言葉に気を付けて生徒を見守ってやってほしい。今日は参加出来た事に感謝します。この日を作って頂いて有難う御座居ました。

良かれと思って言ってることも、子供にとっては、親の理想を押し付けているのかもしれないと、少し反省しました。もっともっと子供と1人の人間として尊重し理解しあって、いっしょに成長していきたいと思いました。

「ごもっとも！」と言える意見がたくさんありました。「きっとそう思われているんじゃないかなあ・・・」と想像できていたり、その感覚から後ろめたさも感じながら生活している

私たち大人に対しストレートに直球を投げてもらった感じです。石阪先生がおっしゃっていただいたように、「子ども」を考えることでむしろ「我々大人のあり方」を考えさせてもらっていると実感しました。今日の発表で私を含め、大人が「大人」になりきれていないところに、健全な子どもを育てられない「社会の稚拙さ」の原因があると実感させられました。代表のみなさん、今日はお疲れさま。ありがとうございました。

「子の心親知らず」なので、子どもの心(声)に傾聴する親が増えるような啓発活動を続けてゆきたいと思いました。

つい最近、20歳になったばかりの大学生です。こども会議発表の内容は、もっともだとうなずけるものばかりでしたが、その一方で、大人の忙しい状況も理解でき、非常におもしろいフォーラムであると同時に、複雑な問題だと感じました。今日、こどもたちが提言してくれたことをしっかりと受け止めて、こどもたちの模範となる大人になれるよう努めていこうと思います。そして、地域の様々な人たちと協力していくことの大切さも改めて実感しました。

子ども達の伝えたい事をきいて

- ・まず、きょうの意見を帰ったら子どもに見せて、話し合いたいと思う。
 - ・かげ口は、きょう今から絶対言わないことにする。
 - ・ムリと思う夢もずっと応援しつつづける。
 - ・子どもの意志をぜったい否定せずに向き合っていきたいです。
- よし、いっちょがんばってみます！！

・子供達が、多くの人の前で堂々とりっぱに発表していたので、とても感心しました。
・小中高生共通する意見が多いのも感じました。子供達は、大人の事をよく見ているので、あらためてえりを正さなければいけないと感じま

した。子供を1人の人間として尊重して、はらを割ってよく話し合わなければいけないと感じました。

子供達の勇気、すごいです。私は40後半になりますが、人前で堂々と自分の意見を述べたりすることが、できません。今日、発表してくれた子供達のような、子供がいっぱいになれば、将来は明るいです。子供達を応援しよう。

私は孫6人あり、子供男・女各1名2人育てました。65歳
小学生・中学生へ
私もやはり、気分しだいで怒ったりしてました。でも息子夫婦は、二人三脚で子育てをして、見ていると、子供(孫)をととても尊重して育てています。子供(孫)に話し合いをしているらしいですが、子供(孫)が心を開いていない様。だからもっと親にたよったり、心を開いて話しをした方が良いと思います。子供達と本音で話しをしたら良い。

一番は、家族の悪口は絶対言わない事に致します。孫の前でもやめましょう やめます！

5 考えたこと、感想など

今日の発表のように子供達に「おかしい」と思った事は、声をあげてほしい。そのことを大人は真剣に対応することに努力しなければならない。白書の問題の本質は大人側にあるのだから。

子どもの育ちを応援しています。でも親をなんとかする教育も考えながらやっています。大人と言われる私たちも、考えていますので少しは安心してください。

子供達の率直な意見が聞けて良かったです。大人を反面教師にして育てて欲しいと思いま

す。

こんな大人になったら楽しそうだな、こんな風になりたいなと思ってもらえるような先生でいるように心がけています。希望を持ってふみ出した先には、必ず希望があります。どんどんいろんなことにチャレンジして、可能性をどんどん広げて下さい。

・親は一方的にいうかもしれないが、それは子供達を信用しているからだと思います。

・親自身も成長していないのかなー。

(子どもたちへ)

皆さん、よく大人を見ていると思います。あとは、そのために自分たちにできることも考えたはずなのでできたかったですね。

子どもの声はその通り！全くそうだと思います。姿勢を正さない大人のことを考えると、大人として恥ずかしいですね。

・子どもの一言一言、とても良かったです。
・子ども達の存在は、大人や地域を育ててくれます。自分をもっともっと好きになれる子ども、大人になれる三重県でありたいと思います。今日は有難うございました。

大人がかわれば子どもがかわる

本音で伝え合う中で、確かな信頼関係が生まれる。子どもひとり一人が抱えている生きづらい思いを、大人は、正面から受けとめなければならぬ。そして、その生きづらい思いを乗り越える力を、子どもにつけていく教育が大切。その基本となるものが「自己肯定感を高める」ということであると思う。

人として当り前の行動ができていない大人が多い。自分勝手なことを言ったり行動したりする大人を見て子どもは子どもで悪影響を受

けそれでよいと思ってしまう。子どもをそのようにしてはいけないので大人ひとりひとりがきちんとすることが大切である。大人に対する教育が必要である。

子供に日々の感謝を出来る様にすることが大事だと思います。(生かされているということ)

人間が自己の存在を大切に思うと同時に他人の存在をも等しく大切に思う処から、人間関係の楽しさが始まる。人間は、一人では生きて行けない社会的動物である。自分と他人の存在を大切にする「BE」動詞の話は意義がある。

・小学生の発表には親と先生しか出て来なかった。外の社会への関心はまだないのかな。
・中学生には自我の発生がある。大人が真剣に子どもと向き合う姿勢を反省させられた。
・高校生は一人の人間と認めて欲しいと主張している。大人への不信を抱かせぬように求めている。
子どもから学ぶ姿勢は良い。大人は子どもによって成長する。

こども会議の発表で、小学校、中学、高校で結論として、同じ事を言っている様です。大人は子どもに対してきちんと目を向けて欲しい、大人は大人らしく行動して欲しいという共通性があった様に思います。

我が子に言われる言葉を言われドキッとしました。子育てに対し、毎日が勉強で日に日に強くなって子供ともども成長している最中です。子ども白書ではなく大人の成長白書を第一にすべきではないかと思いました。

・小学生の発表。昔の子育て時代を思い浮べ涙が出て来ました。

・中学生の発表。皆さんしっかりして自分の生き方考え方には、おばあさんの私の心にしみました。

・高校生の発表。余りにもすばらしい考えに、自分自身もしっかり短い残り少ない人生を悔いなく生きたいと感じました。

こども会議発表に敬意を表したい。

この記録を何かで県民にも知らせてほしい。この子供達が大人になった時の生き方を見届けることが出来ないけれど、平和でおだやかな世の中になっている様に祈りつつ参加させていただいた事に感謝しつつ後にします。

県内広域ではありますが、各地でみえの子ども白書フォーラムをして頂きたいと思います。本日参加されている方は意識して行動するでしょうが、そうでない方は教育関係者・保護者も含め子供達の考えに対して答えられる事が出来ないと思います。気付いていない大人や教育関係者に子供達のメッセージを送り続けて欲しいと思います。

残念ながら、子どもたちの発表に間に合いませんでした。パネルディスカッションを拝聴して、子どもたちへの返答のつもりで、最近教えていただいたよい言葉がありますので、書かせていただきます。

「平凡な教師は言って聞かせる。(指示する)

よい教師は説明する。

優秀な教師は子どもの心に火をつける。」

ウィリアム・ウォード

なんだかんだ言っても、親は子どもにとって一番のロールモデル。「教師」は親におきかえられます。同時に「教師」は大人とも置きかえられます。子どもにとってどれだけ多くの「最高の教師」に出会えるかが大切だと思います。

子ども会議の発表、とても印象深かったです。自分自身、今日発見あったこと、つね日頃考えています。自分自身が「子ども達の見本となれているか?」「こんな大人になりたい」を示しているか。今を一生懸命生きているか。言葉で伝えることも大事だと思いますが、姿で伝える(見せる)ことも大事だと思います。また、言

葉で伝えることと、行動がずれることは、大きな問題だと思います。これは、大人、子ども関係なく、1人の人間として大事なことだと思います。子ども、大人関係なく、1人の人間として、対等に向き合うときに必要になってくることではないでしょうか。

親と子どもの間には伴に信頼を重ね、日々の出来事を話し合い、親は子の気持ちを、子供は親の姿を見たり聞いたり日々を重ねていく事を期待している。

こども会議の発表は、とても堂々としていて、かっこよかったです。こどもの意見はどれも、言われてみれば、そのとおりと思うものばかりでした。しかし、実際には、なかなかこのような話を直接、子どもたちから聴く機会がありません。それは、言えるような関係が築かれてないということもあるかもしれません。本音で話し合える関係をつくるということは、まず大人が変わらなければはじまらないという気がしました。

